

2008年 第40回 日本オプティミストセーリング選手権大会

兼 2009年度 JODAナショナルチーム第一次選考会

レース公示 (NOR)

1. 開催地

第40回日本オプティミストセーリング選手権大会は、2008年10月31日から11月3日にかけて、蒲郡市海陽ヨットハーバー及びその沖海面にて開催される。

2. 主催団体

- | | |
|----------|------------------------------------------------|
| 2.1 主催 | 日本オプティミストディンギー協会(以下JODAという) |
| 2.2 運営主体 | 愛知県ヨット連盟・なごやジュニアヨットクラブ |
| 2.3 公認 | (財)日本セーリング連盟(承認番号 H20-47) |
| 2.4 後援 | 愛知県教育委員会・蒲郡市・蒲郡市教育委員会・名古屋市体育協会
(財)愛知県都市整備協会 |
| 2.5 協力 | ラグーナ蒲郡・B&G財団・(財)ライオンズ日本財団 |
| 2.6 特別協賛 | 株式会社 フォーシーズ |
| 2.7 協賛 | |

3. 適用規則

- 3.1 本大会はセーリング競技規則(以下RRSとする)に定義された「規則」を適用する。
- 3.2 RRS 42違反艇に対し、RRS付則Pを適用する。
- 3.3 RRS 61. 1 (a) は文中の「ただし、(2) 艇体の長さが6メートル未満の艇は、赤色旗を掲揚する必要はない。」を削除し適用する。
- 3.4 今大会はISAF広告規定に基づき、広告カテゴリーはCである。競技者は大会主催者が選定したスポンサーの広告表示の指示がある場合はそれに従う事。

4. 帆走指示書の交付

帆走指示書は、大会受付時、または事前にウェブサイトから入手できる。

5. 参加資格

- 5.1 2008年度(財)日本セーリング連盟及びJODA、会員登録済みの者。
- 5.2 1993年以降に生まれた者
- 5.3 上記条件を満たし且つ、下記のいずれかの資格を有する者
 - a) JODA規定による2008年度各大会別権利取得者 **名(未定)
 - b) 2008年ナショナルチーム 16名
 - c) JODA規定のクラブ推薦者 名
 - d) 開催ホストクラブ 2名合計 140名+5.5
- 5.4 資格者の辞退があった場合は、国内最大合計が140名になるまで東西選手権の成績順に補充する。
- 5.5 主催者が参加を認めた外国選手(但し別枠とする) 2名
- 5.6 使用艇はJODAに登録済みであり、且つ12. の計測に合格した艇のみ使用が認められる。
- 5.7 各チームには実質的にレースに関与するチームリーダー、コーチは、大会に登録しなければならない。これらの人達は定義の規則の適用を受けるものとする。また、チームリーダー・コーチはISAFのメンバーであること。
- 5.8 選手各人は傷害保険に加入していなければならない。

6. レース形式

- 6.1 フリート全体を、できる限り同数になるように4つのディビジョンに分け、各ディビジョンが少なくとも1回ずつ、

コンディションが許せば2回以上、他の各ディビジョンとセーリングする。

6.2 コースは帆走指示書に示される、添付1図「レース・エリア」参照のこと。

7. 日程

10月30日(木)	早期到着日	13:00~17:00	大会受付 計測
10月31日(金)	公式到着日	8:00	大会受付 計測
		8:30	陸上運営ミーティング
		10:00	受付終了
		10:30	開会式、スキッパーズミーティング
		12:55	最初のレース予告信号
		18:30	懇親会
11月1日(土)		8:55	その日の最初のレース予告信号
11月2日(日)		8:55	その日の最初のレース予告信号
		19:00	2008年度JODA総会(海陽ハーバー会議室)
11月3日(月)	最終日	8:55	その日の最初のレース予告信号

(但し、12:00より後にレースの順番1の予告信号が発せられる事はない。)

14:30 閉会式(表彰式)

(閉会式の予定時間に変更ある場合は当日、公式掲示板に掲示する)

8. 得点方法

- 8.1 RRS付則Aの低得点方法を適用する。
- 8.2 各ディビジョンにつき最多で12レースを予定し、最少3レースの完了をもって大会は成立とする。
- 8.3 2つのディビジョンを合わせて行う2つのレースを、全ての選手が参加した1レースとして採点し、4つのディビジョン全てが成立した場合のみを得点の対象とする。
- 8.4 総合得点は、全レースでの得点の合計とするが、10レース以上成立した場合は悪い得点順に2レースを除外し、また6レース以上9レース以下が成立しなかった場合は、最悪の得点1レースを除外する。
- 8.5 馬嶋カップは、各クラブの内、上位3艇の修正得点の合計が集計され、最少得点クラブに与えられる。

9. 安全

- 9.1 クラス規則の4.2(a)及び(b)、4.3(a)及び(b)及び3.3.4に加えて、各艇にはブレードの面積が0.025平方メートル以上のパドルを設置し、選手は笛をライフジャケットにラニヤードで付けなければならない。この指示に従わなかった選手は、この違反が認められた各レース得点から5点加算のペナルティを受ける(PFP)。
- 9.2 海上では常に適当な個人用浮力体(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは適当な個人用浮力体と見なさない。もし、浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。

10. サポートボート

- 10.1 サポートボートは全艇レスキューボートとみなし、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。
 - a) 参加申し込み時に申請用紙にてレース委員会に使用を申請し、許可を受ける事。申請、許可なき艇の出艇、及び定員1/2を超えての乗艇は認められない。但し、2名以上の乗員とする。また、コーチについても事前の申請をし、許可を受けた者のみ乗艇を認める。
 - b) 常時はサポートボートとして航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があれば、いつでもこれに応ずる事。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
 - c) 全てのサポートボートはレース委員会の定める規定に従う事。
 - d) サポートボートはヨットモーターボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険を含む)に加入していなければならない。
 - e) 運行についてレース委員会の指示に従わなかった場合は運行の停止を命じることもある。

11. 参加艇の損傷

- 11.1 損傷した装備の交換は以下により許される。
- 損傷した装備品は、レース委員会計測部により検査を受ける。
 - 許可後に交換した装備品は、その日のレース終了後、レース委員会計測部に提出し計測を行う。
 - レース後の計測では、交換した合格装備品のレース委員会承認はレース前に遡るものとされる。

12. 計 測

- 12.1 選手は大会期間中、ハル、ダガーボード、ラダー（ティラーとエクステンション付き）、マスト、ブーム、スプリット、セールを各1つのみ使用できる。これらの艀装品は規定に従って検査され、クラス規則（国内規則1を含む）に適合している事をレース委員会が承認する。
- 12.2 損傷した艀装品の交換はレース委員会の承認により許される。
- 12.3 国内規則1で証明書提出を免除された艀装品は規定の大会計測をもって規則の適合とみなされる。

13. 責任の否認

- 13.1 参加者は完全に自らのリスクと責任において競技する。
- 13.2 主催団体及びその他の大会関係者は、大会の開始前から終了後に至るまで、参加者が起した、または参加者が被った、対人または対物の全ての損傷・損害についての責任を負わない。
- 13.3 全ての競技者および支援グループは、これら損害賠償の権利を放棄しなければならない。

14. 賞

- | | | | | |
|-------------|------------------------------|---------|-------|------|
| a) 総合 | 1位～3位 | カップ、と賞状 | 4位～8位 | 賞状 |
| b) 小学生 | 1位 | カップ、と賞状 | 2位～3位 | 賞状 |
| c) 女子 | 1位 | カップ、と賞状 | 2位～3位 | 賞状 |
| d) 馬嶋カップ | 団体得点が1位のクラブ | | | |
| e) 小野カップ | クラブ推薦による出場資格選手の内、1位 | | | |
| f) 蒲郡市長賞、 | デンマーク農業理事トロフィー、(財)ライオンズ日本財団杯 | | | 総合1位 |
| g) 竹下カップ | 小学生女子 | 1位 | | |
| h) B&G財団新人賞 | 初参加選手のうち、最高位の男女各1名 | | | |
| i) 参加者全員 | 参加賞 | | | |
- 上記a)～c)のカップについては日本国籍或いは日本に住居するものを対象とする。

15. 参加料

- 15.1 選手（弁当代、懇親会費、ハーバー使用料4日間を含む） 20,000円

16. 参加申込み

- 16.1 参加申込書はクラブ単位で取りまとめ、10月6日必着で下記宛に郵送すること。
参加申込書(No1、No2)は大会ホームページから取得できます。
【申し込み先】 第40回日本オブティミストセーリング選手権大会実行委員会
築山 裕子
〒465-0068 名古屋市名東区牧の里1-1215 曾我建設㈱内
TEL090-5108-1940 FAX052-702-8071
- 16.2 選手参加料は10月6日迄に下記宛に、クラブ単位で金額をまとめて振り込んで下さい。振込人欄にはクラブ名及びチームリーダー名を記入して下さい。
【振込先】 みずほ銀行 大津支店 店番 469 口座番号 普通 1614854
日本オブティミストデインギ協会 レース委員会 会計 仲野 佐代子
注意:締め切り日を過ぎた申し込みは絶対に受け付けません。辞退者とみなします。
※ 参加選手の弁当・懇親会申込みは不要です。

17. 2次選考会の選手選考基準

- 17.1 総合1位が1994年以降生まれの者は2009年度の世界選手権への出場に内定とする。
- 17.2 小学生1位は最終選考会の成績を問わずヨーロッパ選手権への出場に内定とする。但し、この内定者が世界選手権へ出場した場合やヨーロッパ選手権の出場を辞退した場合、その繰上げは認められない。
- 17.3 本大会の優勝者を除く有資格者の上位40名を1次通過者とし、2009年度の世界選手権への出場資格が認められる。辞退者がある場合は次位者が順次繰り上げられる。
- 17.4 8月に開催の第24回全日本オープンティミスト・チームレース選手権の上位2チーム(6名)の選手が40名の枠の中に入った場合はその繰上げは認められない。
- 17.5 万一、最終選考会が成立しなかった場合、2009年度の世界選手権及び既定の大陸選手権への出場選手は本大会の成績をもって上位より選考される。
- 17.6 日本国籍または日本居住の選手に限る。
- 17.7 ただし、IODAアジア選手権に出場者は、一次選考会を免除し二次選考会に参加が認められる。

18. 別途インフォメーション

- 18.1 未登録会員、未登録艇は事前に登録を済ませて下さい。
【会員登録に関する問い合わせ先】 JODA事務局 丸田 郁朗
住所: 〒247-0028 神奈川県横浜市栄区亀井町36-3
TEL: 045-892-0313 FAX: 045-892-0313
e-mail: Imaruta@aol.com
- 18.2 【計測、艇登録に関する問い合わせ先】 JODA CR計測委員会 荒川 渡
住所: 〒459-8005 名古屋市緑区緑花台1709
TEL: 052-622-6179 FAX: 052-622-6195
e-mail: arakawa@spice.or.jp
- 18.3 選手は健康保険証のコピーを持参して下さい。
- 18.4 セールナンバーはレジストブック(従来艇は計測証明書)に記入されたナンバーで参加して下さい。
- 18.5 セールナンバー(ハルを含む)の変更は10月10日迄に大会事務局に申し出て下さい。それ以後の変更は認めません。

—以上—

<その他要件>

宿泊

下記ホテルを大会宿舎として幹旋します。

四海波(0533-68-2141)・蒲郡ホテル(0533-68-1300)・オレンジペンション(0533-59-7956)・ビジネス王将(0533-69-6527)

ホテル詳細、申込み方法は、実行委員長 水谷(携帯090-3583-0449)までお尋ねください。

※事前に宿泊の場合は、実行委員長 水谷に連絡のこと。

選手以外の懇親会・弁当

大会ホームページより申込書を取得の上、大会参加申込書と同封して下さい。

料金は下記振込先に10月22日までに振込みして下さい。

10月23日以降の変更は受付できません。キャンセル等の変更がある場合は10月22日までに、大会事務局 e-mail に変更申込書を添付し、ご連絡下さい。

*懇親会費	3,500円(大人・中学生以上)
	1,000円(小学生)
	無料(小学生未満)

*弁当1食(お茶付き) 800円

<料金振込先>

三菱東京UFJ銀行 金山支店 普通 1984856

口座名義 なごやジュニアヨットクラブ 会計 加佐原明美

尚、エントリー費振込先と異なりますので、ご注意願います。

艇の搬入

10月30日(木) 9:00~17:00 及び10月31日(金) 8:00~9:30 とします。

事前に搬入する場合は、大会事務局に連絡の上手続きをすること。

連絡先

大会ホームページ <http://njyc.info/2008josc/top.html>

大会事務局 築山 裕子

〒465-0068 名古屋市名東区牧の里一丁目1215番地

TEL090-5108-1940 FAX052-702-8071 e-mail : bowkun22@yahoo.co.jp